

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年5月26日	
栃木県知事 福田 富一 様	
提出者 住 所 栃木県鹿沼市茂呂2604 氏 名 株式会社生晃 代表取締役社長 星野茂生 電話番号 0289-62-5185	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社生晃
事業場の所在地	栃木県鹿沼市茂呂2604
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	木材・木製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 33億円/年
③従業員数	103人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		

## (第3面)

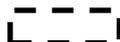
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	12.0 t	t
	(これまでに実施した取組) パーティクルボード端材の製品用部材材料としての再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	12.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) パーティクルボード端材の製品用部材材料としての再利用		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	280.000 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	554.400 t	t
	(これまでに実施した取組) 焼却炉での焼却による暖房。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	280.000 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	554.400 t	t
	(今後実施する予定の取組) 焼却炉での焼却による暖房。		

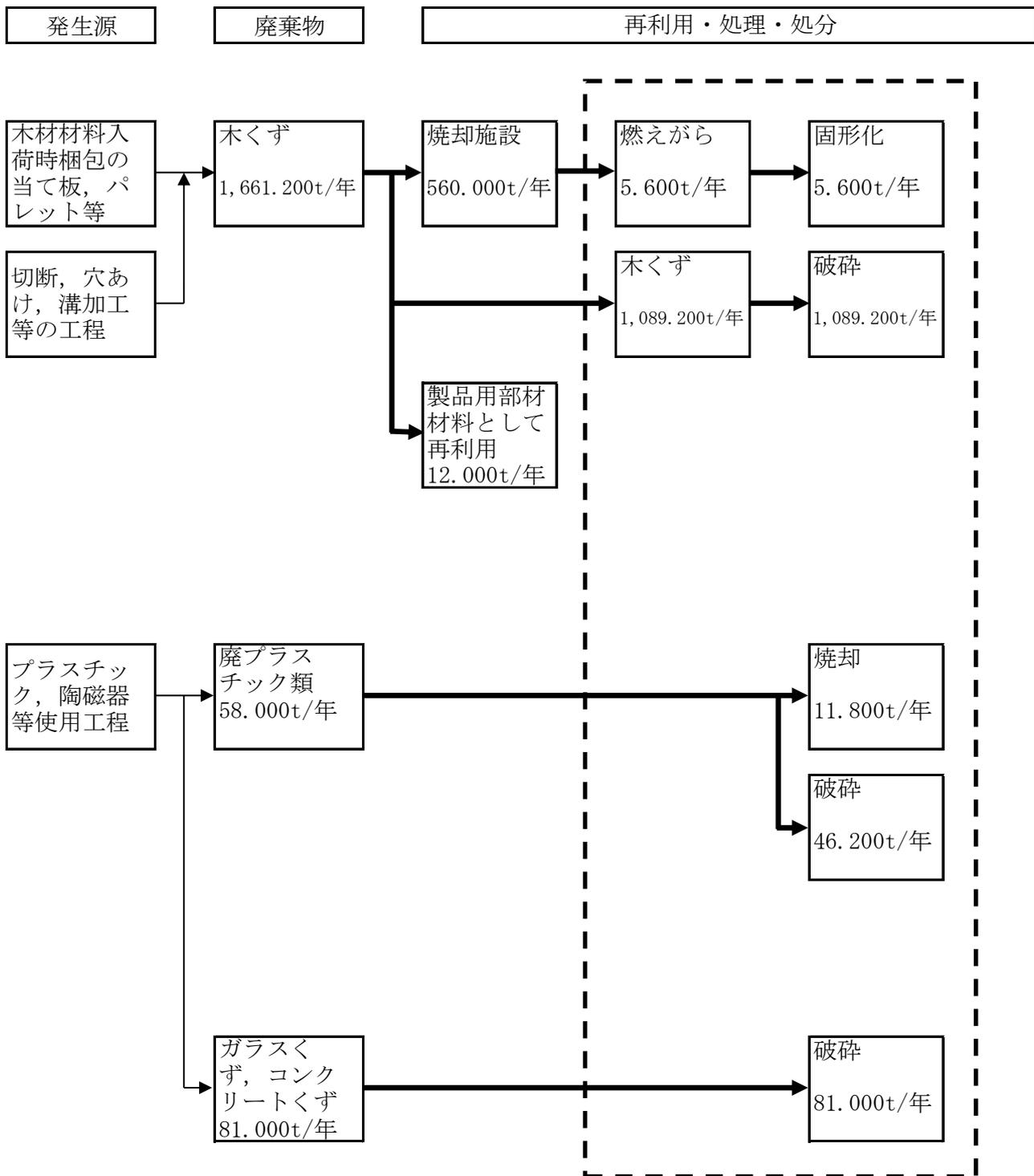
## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無し	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	無し	t
	(これまでに実施した取組)		
無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無し	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	無し	t
	(今後実施する予定の取組)		
無し			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙4のとおり			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
※事務処理欄			

別紙1 廃棄物処理フロー図(現状)

 廃棄物処理の流れ  
 委託処理部分の範囲



別紙2 管理体制

統括責任者 所属：経営管理部 職名：部長

廃棄物担当 組織名：経営管理部 職名：部長  
組織人数：2名

役割 廃棄物管理  
担当課長

- ・ 廃棄物処理計画の作成
- ・ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
- ・ 産業廃棄物処理施設の運転，維持管理状況の把握
- ・ 処理業者，再生利用業者の調査，選定及び管理
- ・ 委託契約の締結
- ・ 産業廃棄物管理票の交付，管理
- ・ 監督官庁への各種報告
- ・ 社員，関連会社に対する教育，啓発
- ・ その他関係する事項

別紙3 令和4年度実績値及び令和5年度目標値

廃棄物の種類及び 実績, 目標の別 排出・処理 の区分	木くず		燃えがら		廃プラスチック		ガラスくず, コンクリートくず及び陶磁器くず	
	実績(t) (令和4年度)	目標(t) (令和5年度)	実績(t) (令和4年度)	目標(t) (令和5年度)	実績(t) (令和4年度)	目標(t) (令和5年度)	実績(t) (令和4年度)	目標(t) (令和5年度)
排出量	1,661.200	1,753.113	5.600	5.910	58.000	61.209	81.000	85.482
自己再生利用量	12.000	12.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己熱回収量	280.000	280.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己中間処理減量化量	554.400	554.400	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全処理委託量	1,094.800	1,186.713	5.600	5.910	58.000	61.209	81.000	85.482
優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	5.600	5.910	11.800	12.453	0.000	0.000
再生利用業者への処理委託量	1,094.800	1,186.713	5.600	5.910	0.000	0.000	81.000	85.482
認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	11.800	12.453	0.000	0.000

別紙4

〈産業廃棄物の排出の抑制に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
木くず	仕損品発生の防止。 端材利用の推進。	仕損品発生防止。 端材利用の推進。
燃えがら	—	—
廃プラスチック類	仕損品発生防止。	仕損品発生防止。
ガラスくず，コン クリートくず及び 陶磁器くず	仕損品発生防止。	仕損品発生防止。

〈産業廃棄物の分別に関する事項〉

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
木くず	不燃仕様板とその他の板との分別。	不燃仕様板とその他の板との分別。
燃えがら	—	—
廃プラスチック類	リサイクル化に向けた分別。	リサイクル化に向けた分別。
ガラスくず，コン クリートくず及び 陶磁器くず	—	—

〈自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
木くず	パーティクルボード端材の製品用部材材料としての再利用。	パーティクルボード端材の製品用部材材料としての再利用。
燃えがら	—	—
廃プラスチック類	—	—
ガラスくず，コン クリートくず及び 陶磁器くず	—	—

〈産業廃棄物の処理の委託に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
木くず	—	—
燃えがら	—	—
廃プラスチック類	—	—
ガラスくず，コン クリートくず及び 陶磁器くず	—	—